



高島地域 住民自治協議会 だより【No.4】



協議会役員の勉強会風景

相談窓口を開設しました

住民の皆様からの相談に答えられるよう相談員のスキルアップを図るため、今回は市の「みんなで創るまちづくり交付金」のしくみや申請方法などについて市職員から説明を受けました。

今後も幅広い分野の相談に答えられるよう勉強会を重ね相談体制の充実を図っていきたくと考えています。

「サポートリングたかしま」では、区や自治会をはじめ各団体の皆様が日ごろ活動されていて困っておられること、またどうやって解決したらよいか悩んでおられることに気軽に相談できる窓口を開設しました。

地域活動は、それぞれの区や自治会、団体が創意工夫をしながら独自に取り組みを進めてきましたが、人口や世帯の減少に加え、核家族化や高齢者のみの世帯などが増えて、今まで当たり前のようにできていた活動ができなくなりつつあります。

それぞれの区や自治会、団体でできないことは他の地域や団体と連携していくことも一つの解決方法です。そのような調整役を担うのが「サポートリングたかしま」です。

「サポートリングたかしま」は、住民の皆様からの相談をお聞きするだけでなく、地域で活動されている団体などの情報を積極的に収集するとともに、その情報を必要とする方に提供することで、地域間の連携が生まれ新たなまちづくりに繋がっていくものと考えています。

まずは「サポートリングたかしま」にお越しいただきお話をお聞かせください。お待ちしております。

7月の予定表

相談員

日	予定	相談員	
1	金	加藤 幸江	
2	土	廣坂 吉憲	
3	日	水谷 裕之	
4	月	お休み	
5	火	お休み	
6	水		藪内 キヨ子
7	木		山田 善嗣
8	金		横田 久夫
9	土	ビーチバレー講習会	井上 修三
10	日	まちづくり講演会	仁賀 定夫
11	月	お休み	
12	火	お休み	
13	水		河毛 悦男
14	木	自治協理事会	川島 清治
15	金		清水 良恵
16	土	ビーチバレー大会	林 勝
17	日		中村 眞奈美
18	月	お休み (海の日)	
19	火	お休み	
20	水		加藤 幸江
21	木		竹中 寛
22	金		藪内 キヨ子
23	土		水谷 裕之
24	日		廣坂 吉憲
25	月	お休み	
26	火	お休み	
27	水		山田 善嗣
28	木		横田 久夫
29	金		井上 修三
30	土		林 勝
31	日		河毛 悦男

サポートリングたかしま 高島地域住民自治協議会

事務所: 高島市勝野670番地 高島公民館2F

開館日: 日・月・火・水・木・金・土 (お休みは予定表をご覧ください)

開館時間: 10時~13時 (相談員が待機しております)

※都合により、当面の間、上記の時間に開館します。

☎: 090-2115-9055 (お越しの際は、まずはお電話下さい)

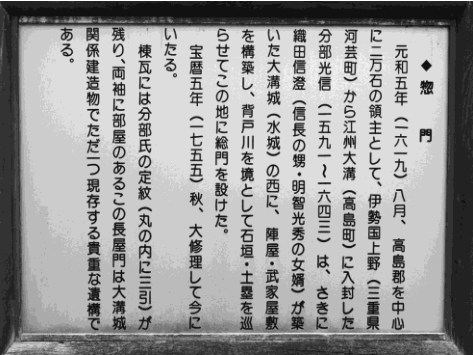
メール: takashima.juminzichikyou@gmail.com

高島公民館内に左側のよう
な看板を出してお待ちして
います。



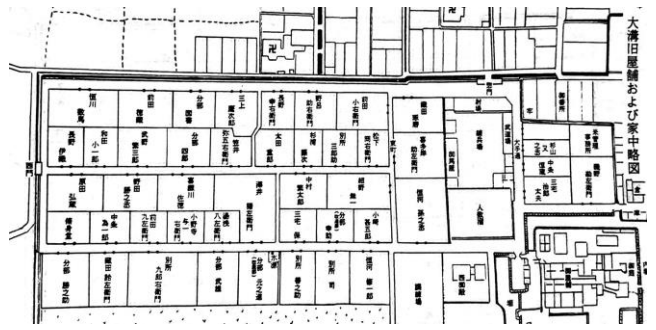
高島町や勝野地区は古くから開け、自然の恵みや歴史や文化の薫り高い土地として知られています。その勝野地区の「榊地区」は、城下町の成り立ちの上からも大溝祭りとのかかわりの上でも、独特の歴史にはぐくまれて今日にいたっています。

当地区は大溝祭りでは特別な役割を担当してきた旧石垣(現 山の手・石垣)、江戸時代の武家屋敷地であった郭内、それに新しく発展してきた中野の4地区からなっており、大字勝野地区においても他地域と異なり異色の性格を持っております。



現在、榊地域の世帯数は66戸で子供会(小学生)は13名です。昨年の自治会事業はわいわいタイム3回

(6月 ウォーキング、10月 星空観察、12月 防災訓練)と見守り活動4回と行いました。子供会は夏季親子事業にサップ*を行いました。



そしてこの度、江戸時代の大溝陣屋唯一の遺構として、高島市の指定文化財となっている「総門(惣門)」が改修工事に着手されることとなりました。専門家の調査結果に基づいて、総門両側の近代の増築部分を取り除き、建築時の姿に戻し、塀なども復元します。

工事完了後は、地域案内の他、大溝の歴史や文化の価値と魅力を伝える展示等が行われるそうです。新たな名所として、にぎわいを生んでくれることと期待しています。(文章・清水 隆仁)



参考資料

「創意と工夫の郷づくり事業“榊の今と昔(小史)”平成5年3月1日発行」

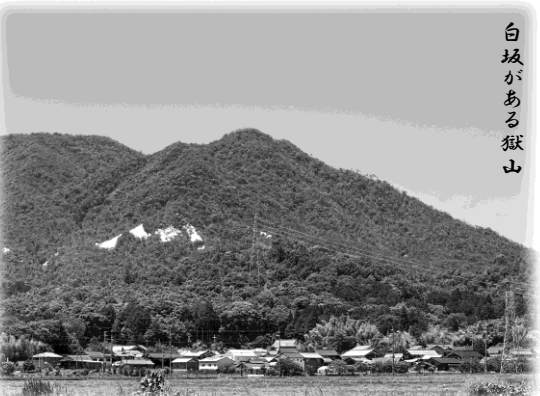
* サップ:スタンド・アップ・パドルボードの略、サーフボードの上に立ち、1本のパドルで水面を進むウォータースポーツ

高島地域の

コンナ話

あんな話

光り輝く楠が野火に焼かれて琵琶湖上へ



白坂がある獄山

獄山の霊木

アイリッシュパーク辺りから西方向を眺めると、多くの人たちが子供の頃に遊んだであろう白坂が目飛び込んできます。この白坂がある山が獄山(だけさん)で、その里の音羽の集落には近江西国七番札所の百連山長谷寺があります。御本尊は秘仏の十一面観音立像で、両脇には龍王立像・雨宝童子がおられます。

この獄山には興味深い話が伝わっています。奈良時代、獄山(三尾山)には約三十メートルの楠(くすのき)があり、常に光を放ち白蓮華(白い蓮の花)のようでした。ある時、野火のため楠は焼かれ、根も激浪に洗われて琵琶湖上に流れ出し、長い間大津浦に漂っていました。養老四年(七二〇年)、大和高市郡八木の里に移したところ、泊瀬山(はせやま)に住んでいた徳道上人(とくどうしようにん)が、この楠の霊木を使って十一面観音菩薩像を造立しようとして発願し神亀四年(七二七年)に成し遂げました。これが大和国泊瀬寺の本尊です。この霊木からは、讃岐国志度寺(しどじ)の御本尊も造られました。

また、この霊木の根本の部分は近江国長谷寺の御本尊が作られたと伝えられ、今も各寺に本木が承が脈々と伝わっています。

注:近江国長谷寺信仰は、獄山の千日詣として毎年7月9日に行われています。